

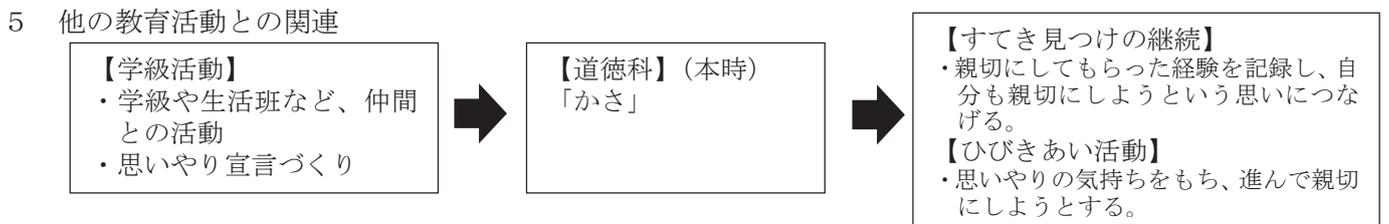
# 4年1組 道徳学習指導案

- 1 主題名 思いやりのリレー
- 2 内容項目 B 親切、思いやり
- 3 資料名 「かさ」〈出典：光文書院〉
- 4 主題構成表

<p><b>■内容項目</b> B 親切、思いやり 相手のことを思いやり、進んで親切にすること。</p>	<p><b>■価値の分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「親切、思いやり」とは、よりよい人間関係を築く上で求められる基本的姿勢として、相手に対する思いやりの心をもち親切にすることに関する内容項目である。</li> <li>・中学年においては、相手の置かれている状況、困っていること、大変な思いをしていること、悲しい気持ちでいることなどを自分のこととして想像することによって相手のことを考え、親切な行為を自ら進んで行うことができるように指導していくことが大切である。</li> <li>・相手の気持ちを考えていない親切はただのおせっかいであり、本当に親切な行動とは、困っている相手の気持ちを考えて行われるものである。そのため、親切な行動によって相手はうれしい気持ちになり、同時に自分にもうれしい気持ちが生まれる。親切とは、困っている人の気持ちを考えて行動することであり、自分も相手もうれしい気持ちになることに気付かせたい。</li> </ul>	<p><b>■教材の分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さつきさんがおばさんに声を掛けられ、かさを貸してもらった場面から、あまり面識のない人から親切にされたさつきさんのうれしい気持ちに共感させる中で、多様な考え方や感じ方に気付かせ、自分の強い気持ちに気付かせたい。</li> <li>・さつきさんが、困っているときに助けてもらうという経験をしたことで、自分と同じようにかさが無くて困っているえりちゃんの気持ちが分かるようになったことに気付かせたい。</li> <li>・かさが無くて困っているえりちゃんのことが気になってしかたがなく、かさを貸してあげると言ったさつきさんについて考え、おばさんに親切にしてもらったことで自分も困っているえりちゃんの気持ちが分かり、親切にしてあげたいと思うようになったさつきさんの気持ちの変化に気付かせたい。また、困っている人の気持ちを考えて行動することで、自分も相手もうれしい気持ちになるという価値の把握につなげたい。</li> </ul>
<p><b>■内容項目から見た児童の実態</b> (意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている人に対して、進んで親切にしてあげたいと考えている児童が多い。しかし、「自分が親切にしたいから親切にする」という児童や、「〇〇をすることは親切な行為なはずだ」と自分本位の考えで行動してしまう児童が多く、その結果、自分が親切だと思ってしたことが、相手に望まれない「おせっかい」になってしまうことが多い。</li> </ul> <p>(要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の考え方や感じ方が自分の考え方や感じ方とは違うかもしれないと考えることができず、自分が親切だと思ったことは、相手も親切だと思ってくれると思い込んでしまっている。</li> <li>・相手を助けてあげたいという思いよりも、自分がいい気持ちになりたい、親や先生にほめてもらいたいという思いが勝ってしまっている。</li> </ul>		

**■ねらい**  
困っている人の気持ちを考えて行動することで、自分も相手もうれしい気持ちになることに気づき、相手の気持ちを思いやって、進んで親切にしようとする心情を育てる。

<p><b>■展開の構想</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり面識のない人から親切にされたさつきさんのうれしい気持ちに共感させる中で、多様な考え方や感じ方に気付かせ、仲間の考え方や感じ方と比べて、強い気持ちに気付かせる。</li> <li>・さつきさんが、困っているときに助けてもらうという経験をしたことで、自分と同じようにかさが無くて困っているえりちゃんの気持ちが分かるようになったことに気付かせる。また、困っているえりちゃんの気持ちを考え行動したことで、えりちゃんも自分もうれしい気持ちになったことに気付かせ、価値の把握につなげる。</li> <li>・これまでの生活を振り返り、相手の気持ちを思いやって、進んで親切にしようとする心情を育てる。</li> </ul>	<p><b>■基本発問 (◎中心発問)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○登場人物のしたこと、すてきだなと思うのはどんなことですか。</li> <li>○おばさんにかさを貸してもらったとき、さつきさんはどんな気持ちだったと思いますか。</li> <li>◎さつきさんが、えりちゃんの様子が気になってしかたがなく、かさを貸してあげるといったのは、どうしてだと思いますか。</li> <li>○これまでに自分が困っている人の気持ちを考えて親切にしたり、自分が困っていた時に親切にされたりした経験を思い出し、自分の生活を振り返りましょう。</li> </ul>
--	--



6 本時の展開

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>1. 事前アンケートの結果を提示し、価値への方向付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親切とは、どのようなことだと思いますか。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>親切について考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親切についてのアンケートの結果から、「あなたの考える親切は、本当に親切なのか」と問うことで、親切について考えるという課題化を行う。</li> </ul>
展開前段	<p>2. 「かさ」を範読する。</p> <p>○登場人物のしたこと、すてきなと思うのはどんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おばさんがさつきさんにかさをかしたこと。</li> <li>・さつきさんが2年生のえりちゃんを気にしてかさをかしてあげたこと。</li> </ul> <p>○おばさんにかさを貸してもらったとき、さつきさんはどんな気持ちだったと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よく知らない人なのに助けてもらえて驚いた。</li> <li>・これで雨に濡れなくてすむ。</li> <li>・どうして貸してくれたのだろう。</li> <li>・助けてもらえてうれしい。ありがとう。</li> </ul> <p>◎さつきさんが、えりちゃんの様子が気になってしかたがなく、かさを貸してあげるといったのは、どうしてだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分もかさが無かったときに困り、つらい気持ちが分かるから。</li> <li>・自分がかさが無くて困っていたときに、助けてもらえてうれしかったから。</li> <li>・上級生だから、困っている子を見たら助けないといけないと思ったから。</li> <li>・助けるとほめてもらえるから。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>困っている人の気持ちを考えてすると、自分も相手もうれしい気持ちになる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の場面設定や登場人物について補足説明をする。</li> <li>・あまり面識のない人から親切にされたさつきさんのうれしい気持ちに共感させる中で、多様な考え方や感じ方に気付かせ、仲間の考え方や感じ方と比べて、強い気持ちに気付かせる。</li> <li>・さつきさんが、困っているときに助けてもらうという経験をしたことで、自分と同じようにかさが無くて困っているえりちゃんの気持ちが分かるようになったことに気付かせる。</li> </ul> <p>深めの発問</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○さつきさんは、えりちゃんと仲良しなわけではないのかさを貸したのはどうしてだと思いますか。</p> <p>○「きのうまでのわたしなら、こんなことはしなかったかもしれない」のに、かさを貸したのはどうしてだと思いますか。</p> <p>○えりちゃんがかさを貸してほしいと言ったわけではないのかさを貸したのは、どうしてですか。</p> </div>
展開後段	<p>3. 価値把握をもとに、自分の生活を振り返る。</p> <p>○これまでに自分が困っている人の気持ちを考えて親切にしたり、自分が困っていた時に親切にされたりした経験を思い出し、自分の生活を振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親切とは、相手に優しくすることだと思っていたけど、○○さんの考えを聞いて、困っている人の気持ちを考えて行動することが本当の親切なんだと思った。思い出してみると、低学年の頃に、運動場で怪我をして困っていたら高学年のお兄さんが優しく声をかけ、保健室に連れて行ってくれた。それがうれしかったから、自分も今、他学年でも困っている人がいたら、優しく声をかけるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分もかさがなくて困っているえりちゃんの気持ちがよく分かり、助けてあげたいと思ったから。</li> <li>・困っているえりちゃんの気持ちを考えており、えりちゃんもうれしい気持ちになっているので、おせっかいではない。</li> <li>・児童の発言によってその場に合った内容を選び、発問を行う。</li> </ul>
終末	<p>4. 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている相手の気持ちを考えてしたクラスの仲間の親切な姿を紹介し、相手の気持ちを思いやって、進んで親切にしようとする実践意欲を高める。</li> </ul>